

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL : 019-623-5575
FAX : 019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

コロナ禍の原材料高騰と製造各社の動きとは？

国内では、2020年1月にコロナ感染症第1例が報告され、まもなく2年を迎えようとしています。

コロナ不況による個人消費の伸び悩み等、経済打撃も続いているが、世界的な原材料の高騰が問題となっています。

輸送費の高騰や円安が追い打ちをかけ、製造各社では製品の値上げに踏み切っています。

製品の値上げは、商社や販売先企業、エンドユーザーの負担となることから、川下の値下げ交渉との板挟みに直面しています。



木造住宅イメージ

原材料高騰にともなう製品離れ

国内の住宅業界では、原価で100万円、販売価格で100～150万円程度の値上げが行われています。

きっかけは、コロナ禍での米国の住宅購入ブームを発端とした“ウッドショック”です。

カナダ産の木製品では、2020年同月比の約2倍まで高騰しており、プレカットメーカーでは材料の一部を欧州産に変更しています。

工務店でも、対象の木製品の使用を変更したケースが出ています。

原材料の高騰は、各業界団体の働きかけによって一定の理解は示されつつも、当初の予算と合わず、川下の製品離れを引き起こす動きが広がり始めています。

では、原材料の高騰の高騰に対して、製造各社はどのような対策を打っていけばよいのでしょうか？

原材料高騰に対する事業戦略の見直しとは？

製品価格値上げに対する販売先の意向

販売先企業は、「製品のスペックを下げることも検討している。」と話します。

短期的な値上げとなる製品については見直しは行わないものの、今後、長期的に値上げが見込まれる製品については、既存の製造メーカーや専門商社を見直しも検討するといった意見が出ています。

製造各社は、「原材料高騰にともなう業界一律の値上げ」という理由だけでは、今後、既存顧客を失う危険性があると考えられます。

製造各社の対策

例えば、製品の販売価格が数百万円上がるとすると、今までと同じ売り方を続けると商品は売れなくなります。

販売先企業は、既存の製造メーカーの製品を基準に、競合他社メーカーの価格・強度・形状等で比較を行っています。

今後の傾向では、原材料の使用量が製品価格に影響するため、スペックは下がっても、原材料の使用量少ない製品にニーズが高まっていくと予測されます。

このため、製造各社では、客単価を下げたローコスト商品開発や、WEBを活用したメーカー直販ルート構築など、事業戦略の見直しが必要と考えられます。

数年先に選ばれる会社であるために、ぜひ早めの対策をご検討いただけますと幸いです。

工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはこちら



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

(お問合せ窓口: 牟田、高村)

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで